

令和2年度第1回蘭越町総合教育会議 会議録

日 時 令和3年1月22日(金)
午後1時30分～午後3時15分

場 所 蘭越町役場3階会議室

出席者 構成員 町長 金 秀行
教育委員会教育長 小林 俊也
教育委員会教育長職務代理者 西澤 雅明
教育委員会委員 及川 かをり
教育委員会委員 西元 裕子
教育委員会委員 高橋 浩之
説明員 教育次長 田縁 幸哉
学務課主幹 今野 満
生涯学習課主幹 高橋 ひろみ
スポーツ課主幹 佐藤 耕治
花一会図書館長 小林 勝司
学校給食センター長 屋敷 広美

傍聴人 なし

午後1時30分開会

1 開会

田縁次長)

ただいまから、令和2年度第1回蘭越町総合教育会議を始めさせていただきます。

2 町長挨拶

田縁次長)

はじめに、金町長からご挨拶をお願いいたします。

金町長)

委員の皆様には、大変お忙しい中会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。さて、去年はコロナウイルス感染症に振り回された1年でした。事業やイベントが全て中止になったり延期になりました。私たちの生活にこれほど大きな影響を及ぼしたことはこれまでないことだと思います。現在集中対策期間ということで、東京都をはじめ感染が収まりません。逆に増えていっている状況です。北海道でもなかなか少なくなっていない。近隣においても感染者が出ているという報道がされています。おかげさまで蘭越町においては、いまのところクラスターの発生もなく、陽性者もでていませんが、これもワクチンの接種次第と思っています。報道の中では3月くらいにワクチン接種が始まるだろうといわれています。町に国からは、3月下旬、まずは医療従事者になるべく早く、その次に、65歳以上の高齢者を対象に始めていくという通知がきています。子どもたちは別ですが、全員に接種が行きわたるのは夏くらいという報道がなされています。ただ、接種は任意ですから、収束までは時間がかかると思われます。感染対策とあわせて経済対策も、相反するところもありますが進めていかなければなりません。町村の運営も昨年から難しさを感じております。いずれにしても早期の収束を進めていきたいと思っております。子どもたちのために委員さんの協力をお願いする次第です。委員の皆さんには日頃から子どもたちの健全育成、さらには本町教育行政の充実推進に、協力いただいていることに感謝を申し上げます。総合教育会議ですが、年1回という形で開催しておりますが、今回が、6回目ということです。教育委員さんのメンバーも去年は西元さん、今年は高橋委員、教育長も新

たに変わっています。そういうことから、本日は教育の課題について行政側と教育委員会が情報共有し、十分な認識を持ちながら子どもたちのために何ができるのか、話し合う、非常に大事な会議と位置付けています。ここで、大きく何かを決めていくことはなかなか難しいと思いますので、日頃の課題について担当者から説明しますので、委員さんとざっくばらんに話し合いをし、少しでも子どもたちの健全育成のためになる会議になれば私もありがたいと思います。担当の皆さんも簡潔に説明をしていただいて、話し合いの時間を取っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

3 教育長挨拶

田縁次長)

続きまして、小林教育長からご挨拶をお願いいたします。

小林教育長)

金町長には多忙の中総合教育会議を開催していただきましてありがとうございます。教育委員の皆様にもお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。町長からもお話がありましたように、平成27年4月に施行されました地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正によりまして、平成27年度からこのような総合教育会議が義務付けられました。毎年1回開いており、今年で6回目になります。社会の変化が激しい中で、教員の働き方改革、ICT環境の整備、外国語活動の推進など、学校教育改革が進んでおり、今年度はコロナ感染症防止対策が加わるなど、様々な課題を抱えております。町におきましても、蘭越高校の存続や曲子光男氏絵画の収蔵展示方法など、難しい課題も抱えておりまして、この会議を通じて町長と教育委員会が情報を共有できることは大変有意義なことと考えております。今回の会議については折角の機会ですので、今後の教育行政に反映されるよう忌憚のないご意見をお願いいたします。

4 協議・調整事項

田縁次長)

それでは、蘭越町総合教育会議運営要綱に基づいて、会議を進めさせていただきます。4の協議・調整事項からになりますが、要綱第3条により、会議の進行を町長にお願いいたします。

(1) 教育委員会の当面する主な課題について

金町長)

それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。次第4の協議・調整事項の(1)教育委員会の当面する課題について、事務局から説明をお願いします。

田縁次長)

教育委員会の当面する課題として

- ① コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入について
- ② 新型コロナウイルス感染症防止対策について
- ③ 蘭越小学校の障がいを持つ新就学児の対応について
- ④ 学校施設の老朽化への対応について
- ⑤ 蘭越高校について
- ⑥ （仮称）曲子光男記念館の整備について
- ⑦ 蘭越町高齢者学級「蘭寿大学」の新組織運営について
- ⑧ 蘭越町スポーツ陸上競技大会兼小学校体育大会及び蘭越町スキー大会兼小学校冬季体育大会のあり方についての8点について挙げさせていただきます。

① コミュニティースクール（学校運営協議会制度）の導入について

平成 16 年に制度化、平成 29 年 4 月 1 日施行の改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律において設置が努力義務とされました。本制度については、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実践するための仕組みで、全国の公立の小中学校においては、昨年より 1,914 校増え、7%アップの 30.7%、後志管内の町村においても導入が進んでおります。今年度は設立準備委員会を設置し、昨年 8 月に第 1 回目の会議を開催、年度内に第 2 回目の会議を招集する予定で、例えば、1 校に 1 協議会とするのか、町全体で 1 つにするのかなど組織体制など設置規則等の整備を進め、令和 3 年度からの導入を予定しております。

② 新型コロナウイルス感染症防止対策について

新規感染者の増加に伴い、小中学校においても児童生徒の感染者数が増加、集団感染も発生しており、ワクチン接種が終了しない限りは、現在の感染予防対策を着実に実施していかなければなりません。文部科学省が定めた衛生管理マニュアルに則り予防対策を進めていきますが、子どもたちの学びの保障を確保するため、地域一斉の臨時休業や感染者 1 人の発生をもって、学校全体の休校は控えることとされています。また、学級閉鎖等の事態に対しては、自宅でのオンライン授業も推進していかなければなりません。

③ 蘭越小学校の障がいを持つ新就学児の対応について

令和 3 年度においては、2 名の障がいを持つ児童の入学が予定されております。1 名は、脳性麻痺により生まれつき下肢が未発達で、自力歩行が困難なことから、移動は車いすによります。対応としては、児童用玄関にスロープと手摺を設置、1 階普通教室や体育館への廊下に手摺を設置、障がい者対応のトイレと水飲み場の設置などバリアフリー化を進めております。もう 1 名はトリーチャーコリンズ症候群という疾病により顎や耳の低形成のため、気道閉塞の状況で、痰の吸引や摂食障害に対して胃管による経管栄養が必要となり、耳の閉塞による難聴という状況です。これに対しては、医療的なケアが必要になりますので、看護師を常駐させ、痰の吸引、管による栄養の補給等を行うこととしております。

④ 学校施設の老朽化への対応について

蘭越中学校は昭和 51 年から 52 年、昆布小学校は昭和 54 年、蘭越小学校は昭和 56 年から 57 年に校舎・屋体が建設されており老朽化が進んでいます。今年度は学校施設長寿命化計画の策定を進めていますが、特に中学校の外壁の痛みがひどく、早急に対応が必要であると指摘されております。今後、現行の施設を維持し、学校を運営していくとすれば、校舎・屋体の改修が目前に迫っています。今後の児童生徒の推移なども勘案しながら、小中学校の施設について検討を進めていかなければなりません。

⑤ 蘭越高校の今後について

蘭越高校については道教委の再編基準が 20 人未満から 10 人未満に緩和され、蘭越高校は再編整備を留保されておりますが、ご承知のとおり昨年度は 6 名の入学という危機的な状況になったことから、町長、前教育長が入学者の確保に奔走し、今年度は 13 名の入学者を確保したところです。なお、今年度は蘭越中学校から 12 名、倶知安町から 1 名、黒松内町から 1 名から 2 名の入学が予定されており、全体で、14 から 15 名の入学者になるのではないかと考えております。しかし令和 3 年度以降の蘭越中学校卒業生は 30 人前後で推移することから、この 10 人を上回る入学生を蘭越中学校卒業生で確保することは極めて厳しい状況にあります。第 1 には、蘭越中学校からの入学者の確保を目指しますが、児童数の減少で限界がありますので、町外から

の入学者も見据え、通学費の助成、下宿先の確保と助成を進めているところです。併せて、道立高校としての存続が困難になった場合に備え、今後を町民と考える検討会を今年度2回開催しており、来年度、報告書を作成することとしております。

⑥ (仮称) 曲子光男記念館の整備

(仮称) 曲子光男記念館検討委員会で6回にわたり審議され、一昨年に答申が町に提出されました。答申においては、例えば山村開発センターの改修に併せての整備など、作品を保管・活用するのに適した併設施設を選定することと、展示公開スペースは最小限に、コストを抑えることとされております。この答申を踏まえ、(仮称) 曲子光男記念館建設庁内検討委員会(委員長:教育長)を昨年2月27日と10月29日に開催し、絵画の収蔵方法や展示等活用方法の議論を重ね、併設施設の検討を進めているところです。

⑦ 蘭越町高齢者学級「蘭寿大学」の新組織運営について

蘭寿大学については、65歳以上を対象に会員を募集し、自治会組織により運営されてきましたが、近年会員数の減少が顕著になり、大幅な新規加入者も見込めず、組織や運営方法の改善が必要な状況にありました。そこで、来年度からは65歳以上であればだれでも参加でき、自治会組織を廃止し、運営は教育委員会で行うこととして検討を進めております。人口減少が高齢者にも及ぶ状況において、本事業の組織や運営の改善が必要になったものです。

⑧ 蘭越町スポーツ陸上競技大会兼小学校体育大会及び蘭越町スキー大会兼小学校冬季体育大会のあり方について

近年の参加者ですが、平成30年度の陸上大会が104名、スキー大会が118名、令和元年の陸上大会が86名、スキー大会は中止、今年度の陸上大会は中止となっています。また、これまで授業として学校で参加していた昆布小学校が授業時数確保という理由で、今年度のスキー大会から個人参加になります。蘭小については、すでに個人参加となっていますが、大会の継続実施の必要性も含め、根本的な部分からの検討が必要な時期となっています。

最後、参考までに、蘭越町教育大綱についてです。大綱については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項において、教育総合会議において協議するものとされておりますが、昨年、教育委員会の承認をもって策定とする旨、町長から決裁を受け、7月、教育委員会議に付議し、承認を受け策定という形になっております。本日の会議に参考資料として提出しました。

以上、8点、教育委員会の抱える当面の課題の説明とさせていただきます。

金 町長)

ただいま事務局から当面する課題8点について説明を受けました。ひとつひとつ聞いていくという形式ではなく、どの課題からでもよろしいので、ご意見がございましたら発言をお願いいたします。

西澤職務代理)

札幌の地下鉄でコロナのクラスターが出たということで、蛇口を自動にしたと聞いています。小学校も一人でもでると、水を飲んだりという際に感染することも懸念されます。できるのであれば、お金はかかりますし、簡単ではないと思いますが自動の蛇口が必要ではないかと思えます。手を洗って消毒ということになれば先生がついていなければなりません。そういうことはできないと思えますので、よろしく願います。

金 町長)

その点については、前総務課長の教育長がお答えします。

小林教育長)

自動手洗いについては、12月に予算を付けて小中学校、町民センター、体育館につけることで進めています。ただ、蘭越小学校が手洗い場の下に暖房器具が入っていてそこをはずさなければ、自動水洗の工事ができないということで蘭越小学校でできない状況です。役場では男女一つづつつける形です。

金 町長)

コロナの創生交付金を活用して、感染対策が必要という意見を聞いて、12月に予算をつけました。全部ではありません。5つあるんだったら2つか3つ自動手洗い場に変えていこうというものです。やっている最中です。

西澤職務代理)

コロナに有効なことは飛沫対策と聞いていますが。

金 町長)

私も専門家でないですが、手指消毒とマスクと言われています。今年インフルエンザが流行っていないのはマスクの効果だそうです。ただ、マスクしているから感染は大丈夫と言えませんが、東京や札幌で増加している原因は飲食だと思います。どうしてもマスクをはずしますので、その中で飛沫が飛び、感染が起こることだと思います。若い人が無症状が多くなっています。恐ろしさが無い、自分は大丈夫、でも感染していたら高齢の人にうつすこともありますので、そこをきちんと対策をやっていかなければ収束は難しい。

及川委員)

コロナ対策で中学校体育館の暗幕を抗菌に代えることになりました。6、7年の懸案事項がやっと叶えられたら良かったと思います。その前に花一会の玄関ガラスを取り換えるという事業もあったと思います。その時思ったんですが、中学校の暗幕も花一会のガラスも特注品で、既製品でない聞いています。町の施設で特注品が備えると納品に時間がかかったり、余計なお金も必要になります。できれば、こだわりがなければ、既製品にした方が良いのではないかと思います。改修するとき安価ですぐ納品できるよう、今後建物を建てる際は気に留めていただきたいと思います。補修が簡単にできます。中学校の暗幕も高さがあつたりで金額が高額になりいままで、更新できなかったという状況もあります。

金 町長)

おっしゃるとおりです。私も入学式、卒業式に出席して、暗幕は気になっていました。破れた隙間から日が射すのを見て直してあげたいといつも思っていたが、5、6百万かかると聞いていましたので、なかなか取り掛かれませんでした。ブラインドにしたらどうかなどの検討もしましたが、決め手にはなりません。コロナの交付金については思ったより町にきました。いろんな事業を進めました。全体として教育費が多く、懸案事項を結構取組めたと思います。体育館の暖房や廊下の暖房も直すことになりました。

及川さんの言われることについては、そのとおりで、例えば町の公営住宅の共用スペースの設備でも特注品は格好が良いのですが、夏場になり蛾や蚊が張り付く。だれが掃除するのか。高いお金を払ったのに、誰かに掃除をしてもらおう。また、明かり窓に特注品を入れたりしたりしますが、割高になってしまいます。維持管理を

見通したものを発注するよう心掛けることは大事です。まして、これから新しいものを建てていくことは難しく、改修が多くなると思います。維持管理しやすいものにしていかなければならない。非常に感じているところです。

及川委員)

設計した金額の予算内入ってれば、特注品でも気にならないということもあると思います。ぜひその辺は考慮していただきたいと思います。

西元委員)

学校施設の改修の話ですが、どれくらい計画が進められているのか、今すぐにやらなければならないのか。何年くらいもつのか。その辺を教えてください。

今野主幹)

学校施設については、今年度長寿命計画を策定していますが、その中で、中学校校舎の老朽化が著しく、今の小中学校を維持していくために、概算で40年で70億くらいお金が必要との試算があります。70億を修理費として出すのか、それとも、義務教育学校という一つの学校で集約して新たな校舎を建てるとか既存の校舎を利用して維持していくなどの検討が必要と考えています。

金 町長)

業者は法律に基づいて耐用年数で試算してきます。耐震化は終わっています。中学校は壁が落下する危険性があります。修繕できるものはしていくが、簡単に言われてもすぐ工事ができるものではありません。生徒も少なくなってきました。中学校は大きいですから全部使わなくても良いかもしれませんのでその辺も含めながら検討していかなければならない。

西元委員)

無駄にならないよう進めてほしいと思います。

金 町長)

昆布は逆に増えていきます。昆布保育所を開設した時は10人以下で、2、3年もてばよいと話していたが、今25、6人います。それがほぼ昆布小学校に行きます。昆布小学校は増えていきます。ただ、建て替えは難しいので修繕しながら進めていくのが必要だと思います。

及川委員)

町内の学校については、どうするか考えていかなければなりません、それまで10年くらいは今の施設を使っていかなければならないと思います。

高橋委員)

今後の蘭越高校についてです。今年度13人の入学者、来年度は14から15人の入学者になるのではないかとしていますが、ふれあい通信で下宿先について全町民に提供してくださいと放送していましたが、募集がなかったのか、再度、募集が流れています。下宿に関して現状どうなのか。

田縁次長)

9月から募集を10月いっぱい募集をかけました。問い合わせは2件ほどあったのですが、登録には至りませんでした。町外からの通学ができない生徒の対応ということで下宿先は必要なものですから、再度12月募集をかけました。その中で、個別に考えているという方が2件ほどありましたので、登録という形で、高校にお

知らせし、高校に問い合わせがあったら、下宿先を紹介することで進めています。最終的には登録件数を増やし、ネットワークみたいな形で、預かっても、なじめないなどのことも考えられますので、選択の幅を広げたいと考えています。

高橋委員)

複数件、登録があって、例えば1件しか生徒が来なかった場合どうやって選ぶのでしょうか。

田縁次長)

それぞれ、下宿先にも特徴があります。2件のうち、1件はペンション経営で、もう1件は農業です。パンをやっているので、朝食がおいしいなど条件を示して選んでもらうことになると思います。

金 町長)

来てもらえればありがたい。町としても下宿代について負担をしようと考えています。今ところは、ないということです。

田縁次長)

募集するきっかけになったのは、北広島市から蘭越高校に来たいということで、以前下宿していた方が、虫等の関係でそこを出てしまい、紹介できる下宿先がなかったものですから、下宿先を探そうということで募集をかけました。しかし、問い合わせのあった生徒は心変わりをして別な高校に行くことになってしまい、現在のところ下宿をする生徒はいない状況です。来年に向けて町外からきていただければと考えています。

金 町長)

今年は、蘭越中学校からある程度の人数が蘭越高校にいつてもらえるということです。10名は確保できるだろうということです。徐々に10人ギリギリでなく、もう少し入ってもらってある程度の活動ができて蘭越高校はいいねということになればよいと思っています。地域の皆さんと連携をとりながら進めていきたい。少ないとクラブや他の活動ができない。また、今年の2年生から修学旅行を海外に行かすことにしています。場所はフィリピンのセブ島だそうです。

及川委員)

蘭越高校の選択理由として、ニュージーランドにホームステイができるからという子どももいると聞いています。コロナで行けなくなっていますが、楽しみにしていたということです。それで選んだのがっかりしている子もいると思います。来年海外渡航が可能になった場合、2名くらい海外に出すというお考えはありませんか。

金 町長)

少人数だと不公平もあるということで、全員行かすということで修学旅行を海外にした経緯があります。語学の強化を進めていこうということになっています。意見を聞いて必要だとすれば、内部で十分検討したい。修学旅行は全員で行ってもらおうとしています。行ける人行けない人がいるのならみんなで行ってもらおう、日本とは違う文化を肌で感じてほしいということです。

小林教育長)

毎年国際交流事業ということで、国際交流の推進委員会を高校で開催してもらっています。役場からは総務課長が行っていますが、年前に高校に声をかけたら、海外旅行は動けない状況ということでした。予算をとっていますので、一回集まってほしい

という声かけはしているのですが、その後、どうなっているか承知しておりません。今年度は難しいと思います。昨年からなるべくたくさんの生徒に行ってもらおうと補正したりしていますが、昨年はコロナが出てきて、補正したのにいけないということになりました。

金 町長)

ニュージーランドは旅費が高いのですが、限られた予算ですので、違うところで人数を多くして行けるところがないか検討したのですが、ニュージーランドが一番安全ということで、1、2人になってしまいます。

及川委員)

私の考えでは、団体と個人は違うと思います。英語圏での語学コミュニケーションは修学旅行とは別物だと思います。修学旅行はみんなでいけば怖くない的のところはありますが、言葉の通じないところに放されたときに、仕方なく自分の力でコミュニケーションをとるという体験はかけがえのないものだと思います。みんなで行ってもらいたいというのが半分、いままでどおりの英語体験をしていただきたいというのが半分です。

金 町長)

学校の方で検討していると思いますが、教育委員会でどう考え、要望するか、やっぱり行かせてほしいとなれば検討する余地はあると思います。昔はふるさと創生基金の利息で蘭越中学生に海外研修に行かせたこともあります。

西元委員)

うちの子も修学旅行は飛行機が飛んでいないということで、場所が沖縄になりました。その理由は、米軍の家族とコミュニケーションを行うというものです。国内でも英語を学べる環境があるので、来年以降もコロナの影響があればそういうところを考えてもよいのではないかと。

金 町長)

感染対策を考えると海外は難しいと思います。一日も早くコロナが収束するよう、経済活動も含め対策が重要だと考えています。

西元委員)

英語に特化したほうが高校の存続については良いのかと思います。外国語が学べる高校を売りにできます。

金 町長)

札幌国際大学と連携し、学生が来て、外国語の授業をするなどの場をつくるなど考えていました。町内の先生方が前向きに考えてもらっていることがありがたいです。高校の先生も子どもたちに英語力をつけようと頑張っています。その先生が、中学校や小学校で触れ合いながら教える、小中学校の先生と連携するなど流れが繋がっていけばよいと思います。先生に恵まれていて、期待しています。ニセコ圏では語学ができれば働ける場所があります。

今野 主幹)

局の指定を受け、小中高英語教育連携事業を行っています。蘭越の英語教育は素晴らしいと評価いただいています。

小林教育長)

高校の先生の蘭越中学校での活動が、中学校から高校への出願数の増加につながっています。

西澤職務代理)

クラブ活動や団体活動ができないという状況もありますが、これからも無理でないかと思うが、それであれば、英語などに特化した方がよいと思います。ただ、スポーツをやりたいという子どももいると思います。

金 町長)

中学校は女子のソフトテニスが強いので、蘭越高校にソフトテニスの良い先生をお願いし、今、その先生がいます。硬式ですが、テニスを教えられる先生がきました。しかし、なかなかかみ合わない状況ですが、非常に良い先生です。高校の先生は若い先生もいて中間もいてバランスも良いと思います。授業も見ると、和気あいあい一生懸命教えていて、環境は良いです。少しでも支援できればと考えています。地域や関係者で支えていければと思います。

西澤職務代理)

曲子光男さんの絵画です。寄贈を受けて年数が経ちますが、未だに具体的なものはありません。検討会で答申はでていて、展覧会も開催されていますが、例えば、道立近代美術館に展示してもらえないでしょうか。

金 町長)

道立近代美術館には曲子さんの作品が1点か2点あると聞いています。蘭越からのものではないですけど。

西澤職務代理)

ということは、曲子さんのことはある程度知られているということですね。

金 町長)

絵画の価値を道立近代美術館の方々に調べてもらいました。2億円以上あるということでした。私が皆さんに申し上げていることは、新たに美術館を建設することは難しい。ただ、蘭越出身の方が描いた絵画をその息子さんが寄贈した想いは無駄にはいけない。検討委員会でも答申が出ていますが、施設の改修に合わせた中で、一緒に飾れるようにしたい。新たな施設の建設は無理だと長男の方にも伝えていきます。

西澤職務代理)

山開センターの2階に会議室ありますよね。昔は結婚式などやりましたが、今はほとんど使っていないと思います。あそこをガラスも全部壁にして展示したらどうでしょうか。

金 町長)

施設の改修に合わせて展示も考えていきますが、常時エアコンをいれるなどは難しいと思っています。美術館ではありませんので。普段の施設の中で、例えばですが、曲子さんの絵画があります。そして、会議もそこでできる。そういう用途ができれば良いと考えています。教育委員会で展示会をやったりしていますが、このまま、ただただ行くというふうにはなりません。委員会も内部で検討していますので、その判断を基に町としての考えを示さないとならないと思います。

西澤職務代理)

改修にあわせて、展示する場所をつくるということであればある程度皆さんも納得されると思います。

金 町長)

日本画は光が直接あたると良くありません。そういうところを考慮して会議ができて、絵を鑑賞できるそういうスペースを考えています。イメージ的にはそういうことです。

西澤職務代理)

例えば、山村開発センターで芸能人をよんだ際、2階の和室を使ったりしますが、改修するのであれば楽屋みたいのも必要と思います。

金 町長)

12月の議会の一般質問で山村開発センターの改修、あり方について質問がありました。今、葬儀なんかは、俱知安でほとんど開かれています。山村開発センターの機能をもう少し広げて、葬儀が町でできるような多目的な活用を含めた改修はどうかと意見がでました。山村開発センターは昭和54年に建設されているので、もう相当年数がたっていますので、いずれ改修はしなければなりません。生涯学習拠点を補完する形で改修できたらと考えています。改修について庁内の検討委員会を設置して検討することになっています。

他に意見等ありませんか。時間もたっていますので、次に進んでよいでしょうか。それでは、次の議題もありますので、(1)についてはこの辺でよろしいでしょうか。

委員一同)

よろしいです。

(2) 令和3年度教育費予算について

金 町長)

次に、協議・調整事項(2)令和3年度教育費予算について、事務局から説明をお願いします。

田縁次長)

令和3年度の教育予算の編成にあたりましては、教育委員の皆様には、総務課長査定前の段階で、第11回教育委員会において各担当から説明しており、これから町長査定ということになりますが、現段階での予算について、主なものを説明させていただきます。

○教育委員会総務費では、蘭越高等学校の今後のあり方についての検討委員会とコミュニティスクール導入に向けた学校運営協議会の報酬や費用弁償を計上しております。また、幼児・児童・生徒の保護者に対する教育相談支援員の設置の継続、英語力向上対策として、ALT2名と外国語活動支援員1名配置を継続するものとし報酬等の計上、加えて、英語検定受検料の助成を継続して計上しております。今年度末に導入されるタブレットは一人1台となりますので、そのための教育用タブレットクラウド環境保守委託料を計上しております。蘭越高校におきましても、教育支援対策費として各種支援事業の予算を継続計上しております。

○小学校では、先ほど申し上げました、医療ケアのための看護師配置の person 費、教師用タブレット(15台)購入を計上、教育振興費では、学校生活における児童の意欲や

満足感、学級集団の状態を質問紙によって測定し、不登校やいじめの発生・深刻化の予防、よりよい学級づくりに活用するため、教育心理診断（ハイパーQ U）を継続して実施します。

- 中学校費では、部活動指導員の増（3名から6名体制へ）、電話機器設備購入費、教育振興費においては、今年度実施した教育心理診断（ハイパーQ U）を継続して実施することとして予算計上しております。また、新たな学習指導要領の実施に伴い、教師用の指導書購入について計上しております。
- 社会教育費では、今年度延期となった後志女性大会運営の補助金を計上しております。また、昨年につき、蘭越町郷土芸能保存会事業で昆布溪流太鼓の皮張替が補助金に計上されております。施設整備の部分では、町民センター電気陶芸窯修理、エアコン・蓄熱暖房の清掃点検を行います。
- 花一会図書館費では、蔵書点検機器としてハンディターミナルの賃借料を計上しております。（3年に1度）
- 放課後子ども教室は、週5日開設を継続します。
- 体育費では、スキーリフトの助成として、スキー授業やスキー遠足のリフト券代を半額助成の継続。スポーツ教室として、パラリンピックウエイトリフティング参加予定選手と町の応援大使でアルペンスキー冬季オリンピックに出場した木村公宣さんを講師にスポーツ教室を行うこととしております。トレーニング機器を活用した町民の健康・体力づくり事業としてのトレーニング教室、歩こう会、町民ロードレース兼ミニ駅伝大会、町長杯選抜野球・サッカー大会を継続開催します。
- 体育施設費では、パラリンピックで使用したウエイトリフティング競技用備品が譲渡されることになっていきますので、その運搬料、体育館アリーナ誘導灯機器取替修理、町民プール照明器具取替修理、ベンチプレス台、パワーラックを購入します。
- 学校給食センター費では、経年劣化した機器を計画的に整備しており、令和3年度は、温水系温度指示調節計交換修理、重油オイルギヤポンプ交換修理、飯缶盛付機テフロン再加工などを行いたいとしております。
また、今後、取替・修理が必要になる設備として、真空式温水機バコテンヒーター、プレハブ冷蔵庫、高圧区分開閉器などを予定しております。

以上で、簡単ですが説明とさせていただきます。

金 町長)

ただいま、事務局から令和3年度の教育予算について説明がありました。来週から町長査定に入りますけれども、お聞きになりたいこと、委員さん方それぞれ考えている部分の中で、こういうことも検討してくれないかということですので、ご意見をいただければと思います。

西元委員)

オリンピックの開催が怪しそうですが、できなかった場合、ウエイトリフティングの機器の譲渡は延びるのか。

佐藤主幹)

譲渡契約は結んでいますので、延長になった場合は、譲渡も延期になると思います

すが、中止になった場合、器具はもう買ってあるそうなので、蘭越には1セット来ると思います。

金 町長)

トレーニング室は開放するんだよね。

佐藤主幹)

現在は止まっていますが、この度、コロナの交付金で監視カメラを設置することになりました。来週見積もり合せを執行し、契約後3週間で設置されることとなりますので、できれば、3月1日から再開したいのですが、情勢をみでの判断になると思います。町内の方限定で、予約制4人位で考えています。制約しながら行っていこうと思います。

金 町長)

早く再開してほしいという要望が結構あるみたいですよ。児童生徒1人にタブレットが1台が整備されますが、それに伴いWi-Fiの工事を行っています。これは補助金が交付されています。

今野主幹)

半分は補助金で、残りは一般財源です。ネットワーク関係は終わっていますが、吹雪の影響でタブレット保管庫の納品が遅れている状況です。

西澤職務代理)

導入して実際どのように使っていくのか。

田縁次長)

来年度、デジタル教科書の実証事業を国が進めるとされており、全国で半分の小中学校で行うことになっています。各学校各学年1教科でデジタル教科書を使ってみるということです。教科は各学校の希望で同じ教科になります。タブレットを授業で使うということが始まります。

今野主幹)

国は2025年にデジタル教科書を導入するという事なので来年から実証実験を行うということです。

西元委員)

来年度からだともうすぐです。研修など進んでいるのですか。

今野主幹)

タブレットの導入が、3月で、それに合わせ、マニュアルを作成し、教職員の研修を行う予定にしています。

金 町長)

すごい時代になってきました。

今野主幹)

機材の納入が年度末なので、新年度からも業者の支援をもらい、適切に使えるようにしていこうと考えています。

金 町長)

タブレットは家に持って帰っていいのか。

今野主幹)

持ち出しは禁止にしようと考えています。

田縁次長)

そういう兼ね合いで紙の教科書も必要になるという声がありますが、詳細は不明です。タブレットを家に持っていけなければ、紙の教科書を家に持っていき家庭学習することになりますが、どうなるかは未確定です。

金 町長)

コロナで休業になった際は、学校の授業をどうするのかといわれたが、そういう中で急速にデジタル化が進んできた経緯があります。情報設備を整えば子どもたちの学習保障ができると思います。国が事業を前倒し一機に進みました。

西元委員)

蘭越小学校の看護師が募集されていますが、来ているのですか。

田縁次長)

今のところ、1名に応募いただいております。条件なり再度考えたいといわれており、返事は週明けにもうらことになっています。もしかすると再度探さなければならぬかもしれませんが、今のところは1名応募していただいている状況です。

西元委員)

その方がやってくればよいですが、いなければ困ります。

金 町長)

決めた以上は何としても探すよう指示しています。

及川委員)

4月に通い始める際、大変だと思います。最終的に一人での通学に導くよう手を貸してあげたらと思います。支援学級や通級の児童も多そうですので、はじまってみて臨機応変に対応していただきたい。また、教育支援相談員について継続しての設置を強くお願いしたい。担当教員がかわっても、就学して保健師さんの手が離れても、継続して相談できる場所や人がいることはとても心強いと思います。相談の件数は多くはないかもしれませんが、お願いします。

金 町長)

評価していただいてありがたい。竹内先生ですが、非常に良い方で、物腰も柔らかい、おいしいコーヒーを入れてくださる方です。

今野主幹)

俱知安の就学にも週1関わっていて、真狩の教育委員会からも要請があり、不登校の生徒の対応も行っています。

及川委員)

本人が困っているかわからないこともあります。でも話を聞いてもらい、他の相談するところにつなげることが大切です。機能していると思うのでよろしくお願ひしたい。

今野主幹)

竹内先生が与えた学習課題で子どもが前向きになり保護者が喜んでいるということも聞いています。

金 町長)

前教育長の肝いりで絶対頼むということで設置したものです。昨年の段階で早くしないと他の町に取られるということでした。決断してほしいということで予算化したものです。

及川委員)

ただ、竹内先生一人におんぶすることも望ましくありません。

金 町長)

巻先生もいて、子どもたちのために役立っていると思います。素晴らしい方だと思います。蘭越に住んでいただければなお良いのですが。巻先生はニセコの人権擁護委員になりました。

及川委員)

相談の場所は学校にあるより役場にあった方が来やすいと思います。

西元委員)

相談室で未就学児にもつながると良いと思います。保健師さんを紹介するなど。その辺はどうでしょうか。

今野主幹)

竹内先生は言葉、コミュニケーションをとりにくい子どもの支援が専門なのですが、保育所などから相談があれば検査に行きます。

西元委員)

親が子どもの言葉が遅れている、行動がおかしいなど悩んだ時に紹介してもらえるような接点はどうなのか。学校だといろんなところにつなげれると思うけど、未就学だとどこに相談したらよいか悩むこともあるのではないかな。

今野主幹)

一昨年、竹内先生の奥さんが言語療法士で、子育て支援センターで講演をしてもらったという経過があります。また、後志の発達支援センターで言葉の検査をさせていただいているとも聞いています。

及川委員)

子どもの相談なら気軽に相談できるのではないかな。

西元委員)

そういうものがみんなに知れ渡っているのだろうか。

今野主幹)

保健師にも関わることがあれば相談に来てくださいと話しています。

高橋委員)

中学校の部活動指導員について3人増ということですが、広く町民に募集して行うのか、それとも経験者に直接お願いするのか。選出方法はどのようにするのか。

田縁次長)

部活ごとに競技団体が町内にありますので、そちらと相談して決めます。なかなか手をあげてくれないので、委員会から相談して競技団体から出していただくという形で調整済です。人の手当はできていて4月からスタートできます。

金 町長)

どの部に配置されるのか。

田縁次長)

現在、ソフトテニス、野球、サッカーに配置されています。卓球、バレー、陸上に来年配置する予定です。中学校は特別支援学級がなくなり、先生が3人減ってしまう予定です。部活は運動が6部ありますが、顧問を複数としているので、どうしても先生が足りなくなりますので、それに部活動指導員を充てるということです。

高橋委員)

顧問につくのは一般の町民でもかまわないのか。

田縁次長)

顧問は教職員になりますが、指導や引率など顧問と同じことが部活動指導員は可能です。

金 町長)

町民の中から経験のある人を頼んでそれぞれ了解をもらい頼んで、先生が減になるので、部活が減らないよう存続できるよう体制を整えたと聞いています。

高橋委員)

中学校は部活などで仕事量が膨大ですから、一般の町民が協力していただくことはありがたいと思います。

金 町長)

そういうつながりの中で、学校と連携してやっていければと思います。スポーツにもっと町民が関わっていけるとと思います。

高橋委員)

蘭越小学校で2名の障がいをもった児童が入学するとあるが、重い障がいだと想いますが、一般のクラスと一緒に活動することは難しいのでしょうか。

今野主幹)

芸能教科、音楽や図工は通常学級の同級生と学びます。

高橋委員)

そのほかの部分については、障がい児向けのカリキュラムがあるのか。

今野主幹)

特別支援学級でその子のカリキュラムをつくります。教科によっては分けなければならないが、一緒にできるものは通常学級と併せて行うような形になります。

高橋委員)

いままでの特別支援と違い、体に障がいがある子どもたちになりますが、学校の先生方はそういう児童に対する講習を受けるものなのか。それとも今まで通りの

か。

今野主幹)

来年の体制がどうなるかまだわかりませんが、教育局にもそういうお子さんが入ることは伝えており、そういう指導にあたる先生を考慮してもらおうようお願いしています。

高橋委員)

そういう児童に対応できる先生が必要ということか。

今野主幹)

体制を整えばそういうこともないと思うが、身体的に障がいがあるので、支援は必要になります。どういう先生がくるか未定ですが、対応できる先生が望まれます。

金 町長)

状況によって先生ができないものは、町で支援する。1名は看護師を町の方で設置することにしていきます。学校生活で必要な設備は町の方で行い、授業については学校で考えた中でやっていただくことにしています。

西元委員)

陸上競技とスキー大会ですが、うちの子は得意でなかったもので、学校参加をいやがっていました。子どもが少ないということなのでしかたのないところもあります。工夫して何とかできないかと思えます。

田縁次長)

例えば、スキー大会のアルペンの競技は、児童のスキーの技術が追いつかず、参加できない状況を学校の方から聞いています。例えばスキーを教える、ニセコではスキーフェスティバルのような形で開催していると聞いていますので、これから検討していかなければならと考えています。夏の陸上大会もコロナで授業の時間数が足りないという状況です。学校では教科を教える時間が決まっていますので、大会を学校行事にすると月曜日を振替でお休みにします。5、6時間授業ができなくなりますし、それが2日だと10数時間の時数を確保できます。そういう事情で、学校としての参加ができなくなったということもあります。

西元委員)

体を動かす機会の確保という点で皆さんに参加してほしいという気持ちもあります。

金 町長)

少年団だとかいろんな都合がありますが、地域でみんなでやりましょう、楽しみましょうとなればいいのですが、昔はできたのですが、子どもたちが今は忙しくなっていて、先生たちも大変でしょうが、体を動かす場が大事ですし、気楽に参加できるものを検討していきたいと思えます。

金 町長)

担当から折角の機会なので何かないか。
外に何かありませんか。全体を通して何かあれば発言をお願いします。

及川委員)

町長の判断で、昨年、コロナの休業中に給食を配っていただきました。子どもたちからもおいしいと好評でしたし、お母さん方も勇気づけられたし、助かったという声を聞いています。そのことについてお伝えするとともに、お礼を申し上げます。

金 町長)

私は全体の責任者で、実際は職員の発案でやったことです。だからそういうことを、みんなで力を合わせてやったことで、子どもたちのためになりました。配るのも職員がやって非常に喜ばれたということは、政策としてやってよかったし、教育からまちづくりにつながっていけばよいと考えています。言っていたいで有難いし、やった職員もよかったと思っています。

外に何かありませんか。なければ以上で閉じさせてもらってよいですか。

委員一同) よろしいです。

金 町長)

大変お忙しいところ、この会議に出席いただいて、みなさんから活発なご意見をいただきまして、大変有意義な会議でありました。意見をいただいた部分で、すぐできるもの、中長期に考えていかなければならないものもあると思いますが、一つ言えることは、蘭越町の中で子どもたちが色んな学習ができるようみんなで取り組んでいくことが大事と考えています。その中で、皆さんにはそれぞれの役割を担い、御指導をいただいております。令和3年もまだまだコロナの収束は難しいと思いますが、少しでも元に戻り、色んな行事ができますよう、委員の皆さんの御協力をお願い申し上げます。令和2年度の教育総合会議を閉じたいと思います。本日はありがとうございました。